

静岡いきものの市 散策マップ

清水船越堤公園コース



- 公園敷地境界
- 遊歩道
- 舗装道路
- 河川・池
- バス停





静岡市 いきもの 散歩マップ

清水船越堤公園コース

しょくぶつ

● オオジシバリ



5月に黄色の花を咲かせます。名前は「地面を縛る」という意味で、軟らかい茎を枝分かれさせて地面をばうように広がります。

● ササユリ



山地の原っぱや、日当たりの良い林の中に生えています。6月にうすい桃色や白い花を咲かせます。

● ニオイタチツボスミレ



よく見られるスミレの仲間。葉は、丸みのあるハート型で、花はうすい青紫色です。

● キンモクセイ



モクセイの仲間の園芸種で、常緑の小高木樹です。9～10月にオレンジ色の小さな花を多数咲かせます。

● シロバナタンポポ



西日本に多い。在来のタンポポの仲間。3～5月に白い花を咲かせます。静岡県では海岸付近や丘陵、台地に生えています。

● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間にだけ見られます。全体に毒があります。

● ツボスミレ



スミレの仲間。4～5月に白い花を咲かせます。平地から山地にかけて生えています。

● ツルウメモドキ



秋になると赤い実とそれを包む黄色の皮が目立つ、つる性の植物です。赤い実はヒヨドリやツグミ、シヨウビタキの餌になります。

● セイヨウタンポポ



ヨーロッパから日本に渡ってきたタンポポです。春に黄色い花を咲かせます。市街地や公園に多く生えています。

● スイセン



ヒガンバナの仲間の園芸種で、南ヨーロッパ～北アフリカが原産です。11～2月に花を咲かせます。

● コバナタツナミソウ



シソの仲間。4～6月に青紫やピンク色のたくさん花を咲かせます。海岸近くや丘陵地に生えています。

● ヤマトツツジ



ツツジの仲間。4～5月に淡赤色の花を咲かせます。主に山地の林の中や林縁に生えています。

● ニガナ



キクの仲間。道ばたや畑、人家の庭先、河原などに生えています。5～7月に黄色の花を咲かせます。

● ツリガネニンジン



キキョウの仲間です。道ばたに生えています。8～10月に青紫色の花を咲かせます。若芽はトクキといい、食用になります。

● ミソソバ



タデの仲間。川の岸辺や田んぼのあぜに生えています。8～10月に淡い紅色の花を咲かせます。

● スイレン



いくつかの野生種から品種改良された園芸種で、池や沼の水面に白い花を咲かせます。花は6～10月に見られます。

アクセス情報



【バスでのアクセス】
1. しずかつバス清水駅前バスターミナル1番乗場より「船越堤公園線」に乗り。
2. 「船越堤公園」にて下車（清水駅より約16分）。

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

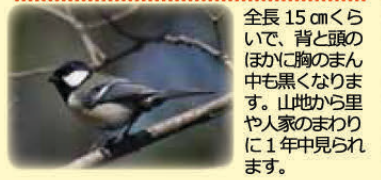
注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとしましょう。
- 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者：静岡市環境創造課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

● シジュウカラ



全長15cmくらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家のまわりに1年中見られます。

● オオルリ(若,オス)



全長17cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。山地から里や人家のまわりを含む光沢のある青色をしています。

● コゲラ



全長15cmくらいの小型のキツツキで、「ギー、ギー」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● ヤマガラ



全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。

● ヒレンジャク



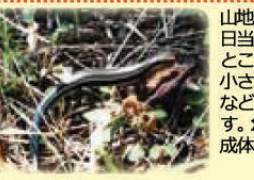
全長17cmくらいで、尾の先が赤色をしています。冬鳥として、群れて飛来することが多く、クロガネモチなどの実のなる木に集まります。

● ヒヨドリ



全長28cmくらいで、全身が灰褐色、長めの尾を持っています。低地から山地の林や、市街地でも1年中見られます。

● ヒガシニホントカゲ



山地から低地の日当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。

● ジョウビタキ(メス)



全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。

● ウソ



山地にすみ、春先にサクラやウメの花芽を好んで食べます。「フィッフィツ」と口笛のように鳴きます。

● カワセミ



静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。

● ニホンカナヘビ



全長20cmくらいで、山地から人家のまわりですんでいるのでよく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌にします。

● ルリビタキ



全長13～15cmくらいで、オスは尾と、頭から背中が青色をしています。冬に人里で見られることがあります。

● メジロ



全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

● キンクロハジロ(オス)



冬鳥として渡来するカモの仲間。池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠毛が特徴です。

● ウシガエル 特 指定外来生物



体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地に住んでいます。「ブーブー」と牛に似た声で鳴きます。

むし

● クロコノマチョウ



大型のジャノメチョウの仲間。暗い雑木林の中において、はねの裏面は枯葉に似ています。初夏から秋に見られ、成虫で越冬します。

● アサヒナカワトンボ



体長4cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスは、はねが橙色のものと透明なものがあります。

● ルリタテハ



中型のタテハチョウの仲間。青色の帯が目立ちます。雑木林に生息し、公園や住宅地ではよくホトギスの花に集まります。

● ミヤマアカネ



アカトンボの仲間。はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。

● ノコギリカミキリ



体長3～5cmくらいで、がっしりとしたカミキリムシです。名前は、ノコギリの歯のようにギザギザしている触角に由来します。

● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

● ミドリカミキリ



体長2cmくらいになる中型で、長い足をもち、緑色にカミキリムシです。雑木林のまわりですんでいます。

● ハラビロカミキリ



体長4～7cmくらいのカミキリの仲間。腹部が太めに見えます。前脚の基部に黄色の突起があります。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)